

■こたえ

- 一 1 みず  
2 いと  
3 くさ  
4 あか(い)

二

- 1 王 才 甲 乙  
2 乙 才 王 甲

- 3 才 乙 王 甲

- 4 ペ ッ ト ボ ト ル

- 5 才 マ ト ト 才 乙

三

- 1 しよくどうで せよくどうを します。

- 2 たくさんの 人と じどう車を はこぶ ため

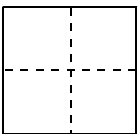
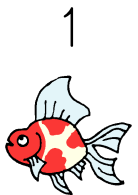
- 3 きやうくしやで 休みます。

■かんが 考え方

- 三 文しように よむ ときには、だいじな ことばや 文を さがしながら よむ ように します。

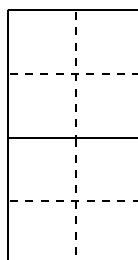
取り組んでみよう!

■ つぎの えを 見て かん字を かきましよう。



ぎよ

2



こたえ

学校 2 金 ↓



■正答

一 1 ア エネルギー(五字)

イ 体温が上がり(六字)

2 (例1) (朝ごはんは、) 食べないとエネルギーがなくなり体がだるくなるので、  
しっかり食べるひつようがあると思う。(。)(四十二字)

(例2) (朝ごはんは、) 大切なエネルギーになるので、今までは食べない日も  
あったけれどかならず食べたいと思う。(。)(四十字)

※分かったことと自分の考えを、条件に合わせて書いていければ正答とします。

二 1 ととの(える)

2 さむ(い)

3 こうてい

4 ちゅうい

5 あんぜん

三 1 湯

2 根

3 感想

4 進歩

5 集(める)

■考え方

一 1 文章中に図や表があるときには、文章とのかんけいを考えながら読み取ることが大切です。ここでは、やじるしの向きから朝ごはんがエネルギーになること、体温を上げるのが分かります。

2 文章を読んで分かったことから、自分はどのように思うか、どのように考えるかなど、自分の考えをもつことが大切です。ここでは、自分が朝ごはんを食べているかどうかなどをつなげて考えをもつことも考えられます。

取り組んでみよう!

次の——線部の漢字の正しい読み方を、ひらがなでいねいに書きましょう。

1 箱にしまう。

\_\_\_\_\_

3 鉄橋をわたる。

\_\_\_\_\_

2 役を代わる。

\_\_\_\_\_

4 病院に行く。

\_\_\_\_\_

答え

ア イ ト ヌ

ヤ

シ ヲ キ コ

エ

(ウケ)

ウ

コ

レ

前年度サポート問題(第一回) 国語 小五

【児童用】

■ 正答

一 1 「さわる」てんらん会

2 (例1) (両方向の矢印とは、) 目が見える人と見えない人の関係を、視覚にたよる人と触覚にたよる人にとらえ直すと、おたがいの得意な特ちょうを学び合う関係に変わること。(六十六字)

(例2) (両方向の矢印とは、) 目が見える人と見えない人が、「見る文化」と「さわる文化」の特ちょうを学び合い、コミュニケーションをする関係のこと。(五十七字)

二 1 ともだち 2 きろく 3 めじるし

4 てちょう 5 めいあん

三 1 鉄橋 2 体育 3 使(う)

4 遊(ぶ) 5 鼻血

■ 考え方

一 この問題では田村さんが、文章を読んで分かったことについて、自分の体験と結び付けた自分の考えやぎもんに思ったことを付せんにメモしています。

読むことの学習では、文章の内容だけではなく、文章を読んで分かったことについて、自分の感想や考えをもつことが大切です。

取り組んでみよう!

■ 次の——線部のカタカナを、漢字でていねいに書きましょう。

1 クスリを飲む。

\_\_\_\_\_

3 クチブエをふく。

\_\_\_\_\_

2 美しいミズウミ。

\_\_\_\_\_

4 ノウギョウを学ぶ。

\_\_\_\_\_

答え

蒸籠 ヲ 異口 8 眠 乙 溝 ↓

前年度サポート問題(第一回) 国語 小六

【児童用】

■正答

一 1 ウ

2 選んだ予想される反対意見が、①の場合

(例1) 得意な人ばかりにボールが回り、ボールにさわれない人も出てくると考える人もいるでしょう。ですから、ボールを取った人が、まだ投げていない人にボールをわたすように、ルールを変えたいと思います。

(例2) 得意な人ばかりにボールが回って楽しめないと考え人もいるでしょう。そこで、ボールを取った人が、まだ投げていない人にボールをわたすようにしてはどうでしょうか。

選んだ予想される反対意見が、②の場合

(例3) ドッジボールはかたいので、当たるとかたいと考え人もいるでしょう。ですから、当たってもいたくならないように、やわらかいボールを使うのもよいと思います。

(例4) ボールが当たるとかたいと考える人もいるでしょう。そこで、ソフトバレーボールのようなやわらかいボールを使ってみてはどうでしょうか。

※条件に合い、つながりに気を付けながら書かれている場合は正答とします。

二 1 ぼうえき 2 はか(る) 3 どくは

4 せいけつ 5 ころろぎ(す)

三 1 季節 2 試験 3 歯医者

4 不思議 5 沖縄

■考え方

一 相手に分かりやすく伝わるようにするには、構成の「始め」から「終わり」までの「つながり」を意識するなど、文章全体のすじ道を整えることが大切です。

また、文章全体の構成を考える際には、それぞれの段落の内容としてどのようなことを書けばいいのかを考えたり、自分の考えを一貫して述べたりすることが大切です。

取り組んでみよう！

■ 次の——線部のカタカナを、漢字でていねいに書きましょう。

1 銀行にチヨキンする。

2 問題をカイケツする。

3 シッパイをおそれる。

4 紙をインサツする。

1 印刷

2 失敗

3 解決

4 貯金

答え

印刷

失敗

解決

貯金

1